

新生「ひまわりホール子どもアートフェスティバル」に みんな 集まれ〜!



昨年度の開催風景

当劇場では、これまで24回にわたって、年1回の人形劇のお祭り「ひまわりホールパペットフェスティバル」を開催してきました。これを、今年4月のNPO法人化をひとつの節目として大きく改め、「ひまわりホール子どもアートフェスティバル」にリニューアルすることにしました。

過去のパペットフェスティバルで数々の名作を上演して下さった全国的に活躍するプロの人形劇団、センター会員でもある地元の人形劇団の皆さんに加えて、一般の演劇、ダンス、音楽など、ジャンルを飛び越えた数多くの団体及び個人の皆さんが登場します。中には名古屋での上演が初となる作品も含まれていますし、ただ観るだけではない、体験型のプログラムも予定しています。

また、今年2月に行われたP新人賞2014の最終選考上演会において、「山ぐるみ人形劇 桜の森の満開の下」により見事受賞したベビー・ビー(京都府)も、期間中の両日にわたり新作を発表・上演します。もちろん世界初演となる作品です。

さらに、人形づくり、楽器づくりなど、体験型のプログラムが数多く用意

されていることも今回の特徴です。もしかして、大きな人形を自分で動かすことができるかも……! そんな驚きの企画を含め、これまでにない規模でお届けすべく、現在準備を進めています。

延べ20の団体の29ステージが、10月11、12日の2日間にわたり、損保ジャパン日本興亜名古屋ビルの各会場で同時多発的に展開される舞台芸術のお祭り、それがひまわりホール子どもアートフェスティバルです。「なんか面白いことないかなあ」というその君、おうちの方や友達と遊びに来てくださいね!!

もちろん、大人の皆さんにも楽しんでいただけるような内容も数多く取り揃えています。ぜひお誘い合わせの上、ご来場をお待ちしています。秋の連休は、ひまわりホールでお会いしましょう!

ひまわりホール子どもアートフェスティバル
10月11日(日)・12日(月・祝) 10:30
入場無料(観劇のみ下記のとおり有料)
1作品鑑賞チケット400円 6作品鑑賞チケット1,500円
11作品鑑賞チケット2,500円 ※大人子ども同一料金

新たな才能、新たな出会い、 新たな“P”を待っています

「P新人賞」の「P」は、人形劇パペットのP、オブジェ・身体パフォーマンスのPです。人形ジャンルの明日を担う新新な才能を発掘するために、今年も開催します。

「P新人賞」とは、2011年度から愛知人形劇センターの主催で始まった人形劇のコンクールです。これまで4年間で全国各地から21団体の応募があり、4団体がP新人賞に輝きました。年齢層も若手ソロパフォーマーから、アマチュア人形劇団、プロ劇団にまでわたっています。応募は、年齢、経験、国籍、アマチュア・プロは問いません。個人製作・団体製作ともに可能で、人形劇やオブジェ、身体表現を使った作品を募集します。上演時間45分以内、構成人数5名以内。2016年2月13日(土)・14日(日)の最終選考上演会に出演できることが条件です。

受賞作品には賞金20万円。2016年度のひまわりホール子どもアートフェスティバル2016で新作を上演していただきます。最終選考上演会での上演については、往復交通費と宿泊費(上限あり)を特定非営利活動法人愛知人形劇センターが負担いたします。

第1次選考締切は、9月15日(火)。多くの皆様の応募をお待ちしています!

P新人賞 2015 大募集!
9/15(火) 締切

応募資格

- ・年齢、経験、国籍、アマチュア・プロ問わず。
- ・個人製作、団体製作とも可能。
- ・人形劇やオブジェ、身体表現を使った作品。
- ・出演5名程度まで。
- ・応募作品の上演時間は45分以内。
- ・2016年2月13日(土)・14日(日)にひまわりホールで開催される最終選考上演会に参加できること。

第一次選考

最終選考会に進む3団体を決定しますので、以下のものを、9月15日(火)までに郵送して下さい(当日消印有効)。

- ① 個人・団体の名前、プロフィール、演出又は振付などの氏名
- ② 応募者の氏名、住所、電話、携帯電話、eメールアドレス(携帯、PC)
- ③ 応募作品もしくは今までに上演した1作品の映像(DVDにて)
- ④ その上演資料(チラシ、パンフレット、台本など)
- ⑤ 応募の意図、又は作品の意図(300字以内)

★2011年度★

Puppet Theater ゆめみトランク (愛知)

『やぎのおはなし』



「人形劇」とは「モノ」と「そうでないモノ」の関係性の演劇です。そこにどんな可能性があるのかとことん考え抜いてみると、きっと新しい発見があるはず。それは挑戦するみなさんにとつてのみならず、「人形劇」や「演劇」といったジャンルを超える、価値ある発見になると思います。

★2013年度★

banko (バンコ) (神奈川)

『さなぎのとき』



これまでは自分のベースで、想いが膨らんだ結果の人形作り、作品作りでしたが、選考会から受賞記念公演までの1年間は、とても慌ただしく過ぎていきました。初めての締切、時間の制約の中で半ば強引に形にしている作業は、雑念を払って、物事をシンプルに考え、今の自分に腹をくくってさらけ出すという自立心と、いい意味でのアキラメを経験させてくれました。そしてたくさんの人たちとの出会いもありました。現在はまた以前のように地味にネチネチと引きこもりながら舞台活動を続けていますが、この名古屋での新しい経験と出会いが、ふつふつとした毎日を過ごすbanko(バンコ)に大きな栄養を与えてくれたことは間違いありません。

★2012年度★

人形劇団ネンネンネムネム! ねむり鳥 (東京)

『幽霊』



大道やカフェなどでの上演が活動基盤となっていた私たちにとって、P新人賞受賞公演は企画を持ち予算を組み劇場作品制作に取り組みひとつの大きな機会となりました。若手の個性ある人形劇人が増えてゆくことを希望します。活動の場を求めらるみなさん、ぜひ挑戦してみてください!

★2014年度★

ベビー・ビー (京都)

『山ぐるみ人形劇 桜の森の満開の下』



私たちは人形劇団ではありません。イラストレーター・知人がある時ぬいぐるみ製作をはじめ、戯れにそのぬいぐるみをつかった劇を上演していたところ、P新人賞への応募を薦められました。人形劇をすすと「劇が起こること」とは何か、いつも考えさせられます。P新人賞では、そんな私たちの問題意識・興味関心を、評価と共に(選評会で)一緒に考えてもらったように思います。懐の深さと厳しさが同時にある、表現を鍛える者にとって、とても得難い場でした。

受賞経験者からのメッセージ

Polina Borisova『Go!』



お芝居の“壺”

客席にすわって、今から始まる舞台上に心を奪われる「お芝居の“壺”」って、一人ひとり違いますよね。

楽しいと思うか、悲しいと思うか。はたまた、つまらなくて、眠ってしまうのか。わたしは勿論、心奪われた一人。客電が静かにおいてどんな場面が展開されるのか、わからない瞬間。でも言いようのない“高揚感”。

このポリナ・ボリソバによる一人芝居は、さしたる台詞もなく、役者の演技と、時おり自分で描いては消す“背景”とで紡いでゆく「或る老婦人の回想」です。ポリナは、この台詞のない「沈黙(サイレント)と動作」を作り上げるのに、どの位設計図を描いては消し、描いては消したのでしょうか。

2014年の初夏、わたしはドイツのマクデブルクでこの「GO!」を見て、終演後すぐさまポリナさんにごあいさつに向かいました。いつの日か、日本にお招きしたいと思った瞬間でした。憧れのシャルルビル・メジール(フランス)の「人形劇芸術高等学院-ESNAM」で学んだポリナさん。日本公演は初めてです。

名古屋で素敵な舞台を見てこられたお客様。はたして、ポリナ・ボリソバの「お芝居の“壺”」にハマってくださるでしょうか……。どきどきしながら、秋の来日を楽しみ♪

ブーク人形劇場 おなぎたみこ

作品ナビ アパートの暗がりには老婦人がひとり。かすかな光が溢れる中をさまよっている。彼女は様々な思いの断片、あれこれの品々と白いテープで暗闇に彼女の辿ってきた長い道程、時代を呼び戻す…。元気な子どもたちの笑い声や、様々な音、音楽、そして鳥の鳴き声…。この老婦人は、演じるポリナのこれから出会う物語かもしれないし、老婦人の家族に実際に起こったことであるかもしれない。「GO!」は私たちが、人生最後の旅立ちの問いに向かう、一風変わった世界に誘ってくれる。

海外人形劇招へい企画
ポリナ・ボリソバ
Polina Borisova公演『Go!』
11月17日(火) 19:00
作・演出・美術・出演: Polina Borisova(フランス)
上演時間: 45分・セリフなし
前売3,200円 当日3,500円

いいだ人形劇フェスタ2015にて 「特集 愛知の人形劇」開催



防災人形劇「さんびきのこぶた危機一髪!」&体験型防災ワークショップ



オブジェクトパフォーマンスシアター「胎児の夢〜ドグラ・マグラより」

8月4日(火)から9日(日)にかけて長野県飯田市で開催される「いいだ人形劇フェスタ2015」。いいだ人形劇フェスタは、30年以上の歴史を誇る日本で最大規模の人形劇フェスティバルです。このフェスティバルで今年には「愛知特集」が組まれます。

愛知人形劇センター・ひまわりホールの多彩な活動の中から、昨年度好評を博したオブジェクトパフォーマンスシアター『胎児の夢〜ドグラ・マグラより』(作: 夢野久作、構成・演出: 木村繁)、ひまわりホールの所有会社である損害保険ジャパン日本興亜株式会社との協働で製作した「防災人形劇「さんびきのこぶた危機一髪!」(脚本・演出: くすのき燕)&体験型防災ワークショップ」、P新人賞受賞作品連続公演等、多彩な企画で実施されます。

また、北なごやパペットフェスタで開催されている「北なごやおはなし大賞」の作品連続上演や、愛知の伝統人形芝居「甚目寺説教源氏節もくもく座」「知立山車文楽」の上演もあります。

海外人形劇団の公演も盛り沢山。今年の夏は「いいだ」へお出掛けを!

※詳しくは [いいだ人形劇フェスタ](#) 検索